



# おひさま通信

## 2019年度 最終号

### 発行：聖クリストファ幼稚園



2019年度も「おひさまひろば」に遊びに来て下さり、ありがとうございました。5月8日（水）から始まり、2月26日（水）に最終回を迎える2019年度の「おひさまひろば」は、延べ300人余りが参加して下さり、楽しい1年を過ごすことができました。

聖クリストファ幼稚園は創立以来「ひとり一人を大切に」「神さまと人々に愛される喜び」を伝える教育を続けてまいりました。子育て支援サークル「おひさまひろば」もこの教育方針に基づき、お子さまの健やかな成長のお手伝いと、おうちの皆様がほっと一息つけるような場の提供ができるよう、教職員一同、これからも、心と力を合わせてまいりたいと思います。

2020年度もぜひ遊びにいらしてくださいね。お待ちしております。

園長 赤坂 典子

### ～2020年度「満三歳児入園」の案内～

- ・2020年度満三歳児の入園願書を2020年2月3日（月）より配布開始しております。
- ・2020年度満三歳児入園願書受付は下記の通り行います。

#### 入園願書受付

日 時：2020年3月2日（月）10：00から

場 所：聖クリストファ幼稚園

持ち物：願書、生活調査票、入園検定料（5,000円）

### おひさまひなまつり

2月29日（土）に「おひさまひなまつり」を行います。

詳しくは、別に配られる案内か、幼稚園のホームページをご覧ください。



## 紺野先生の子育て講話

### 「楽しく体験」

これまで「足の裏」「口」「道具」の使い方についてお話ししてきました。「毎日大変なのにそんなことまで気にしてられない❗️」と思われた方も少なくないでしょう。多くの方は、子どもが自分でできることが増えてくる頃に「...ができない」「...をちゃんとしない」と心配するようになりますし、その心配は子どもが学校に入るとさらに増えていきます。

以前もお話させていただきましたが、子どもの「できない」には必ず原因があり、その原因の一つに身体と気持ちがしっかり育っていないことがあげられています(かなり多いです)。身体と気持ちが育つためには、子どもの頃に色々な経験を体験することが必要で、体験の少ない子どもは上手に動けないことが多く、ちょっと不安そうにしています。面倒臭いと億劫がる子もいます。

一方で、経験が多い子はどうでしょう。体力があり、色々なことを積極的に楽しみます。失敗してもまた挑戦します。その子の性格だけではありません。どの子も育つためにはある時期まで周囲の大人が工夫してあげる必要があります。子どもは勝手には育ちません。

また、子どもたちは大人のすることも真似しながら経験を重ねていきます。ですからお手伝いもいい経験になります。(忙しい時はちょっと邪魔に感じるとは思いますが...)お手伝いをしている子は手際がいいだけでなく、工夫することが上手だったりもします。

親子で一緒に過ごす時間は子どもの成長とともに少なくなっていきます。長いようで短いものです。どうぞこの時期、親子で楽しみながら色々なことを体験させてあげてください。

そのなかで、もし子どもの「できない」が気になった時は「どうしてできないのかなあ？」と考えてあげてください。同じような話を何度も申しあげますが、体験が少ないことで色々な場面で困っている子どもたちが多くいるので、再度お話をさせていただきました。

最後に、誰かと一緒に考える方がより良いと思います。おひさまひろばの先生方も相談にのってくれます。もちろん私もです。一緒に考え、「上手に」より「楽しく」体験していきましょう。



### 聖クリストファ幼稚園

仙台市青葉区小松島3-1-77

TEL/FAX：022-234-5719

